

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る

重要情報シート（個別商品編）


1.商品等の内容（当社は、販売会社として、組成会社等が提供する商品の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	楽天日本株トリプル・ベアV
組成会社（運用会社）	楽天投信投資顧問株式会社
販売委託元	楽天投信投資顧問株式会社
金融商品の目的・機能	当ファンドは、わが国の株価指数を対象とした先物取引（以下「株価指数先物取引」といいます。）を積極的に活用することで、日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場の値動きに対して概ね3倍程度反対となることを目指して運用を行います。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	・この商品は、レバレッジ倍率に比した高リスク商品（日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場の値動きに対して概ね3倍程度反対となることを目指して運用）であり、初心者向けの商品ではありません。また、保有する期間が長くなった場合、基準価額が株式市場より下振れする可能性が高くなることへの十分な理解が必要です。；・短期間の取引による売買差益の獲得を目的とする投資家のご投資を想定しております。；・この商品は、大きく元本割れするリスクを許容する投資家向けです。
パッケージ化の有無	ありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。
次のようなご質問があればお問い合わせください	・あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠はなにか。 ・この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。 ・この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べてどのようなメリット・デメリットがあるのか。

2.リスクと運用実績（本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	■運用資産の市場価格の変動により、以下のようなリスクがあります。；・株価変動リスク：株式市場が上昇するリスク。本商品は、株式市場の値動きに対して概ね3倍程度反対となることを目指して運用するため、原資産の市場価格の変動幅よりも損益の変動が大きくなります。；・金利変動リスク：金利上昇により債券価格が下落するリスク；・流動性リスク：投資資産の流動性が低下することで期待する価格で売買ができないことによる下落のリスク；■投資先の破綻や債務不履行により有価証券の価格が下落する信用リスクがあります。；※損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「投資リスク」の項目に記載しています。
〔参考〕 過去1年間の収益率	-62.5%（2023年12月末現在）
〔参考〕 過去5年間の収益率	平均-49.1% 最低-62.5%（2023年12月） 最高-25.7%（2023年3月）（2023年3月～2023年12月の各月末における直近1年間の数字）
交付目論見書参照箇所（リスクと運用実績）	損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書の「運用実績」に記載しています。
次のようなご質問があればお問い合わせください	・上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。 ・相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

3.費用（本商品の購入または保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用（販売手数料など）と詳細書面（QRコード）	申込金額	手数料率(税込)	
	一律	2. 200%	

継続的に支払う費用（信託報酬など）	信託報酬=運用期間中の基準価額×信託報酬率。信託報酬率は年 1.023%（税抜 0.93%）。また、その他費用・手数料等が実費でファンドから支払われます。これらは事前に料率、上限等を表示することはできません。
運用成果に応じた費用（成功報酬など）	ありません。
交付目論見書参照箇所（費用）	上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「ファンドの費用」に記載しています。
次のようなご質問があればお問い合わせください	<ul style="list-style-type: none"> ・私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。 ・費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

4.換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

償還期限	当ファンドの償還日は2025年6月13日です。ただし、一定の条件により信託期間を延長または繰上償還する場合があります。
解約時手数料等	ありません。
解約の制限事項	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込みには制限を設ける場合があります。
交付目論見書参照箇所（換金・解約の条件）	詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「お申込みメモ」に記載しています。
次のようなご質問があればお問い合わせください	・私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。



5.当社の利益とお客様の利益が反する可能性

<p>お客様がこの商品を保有している期間中、信託報酬のうち販売会社分として年率0.33%（税込）の手料をいただきます。これはお客様の口座管理や各種報告書等の情報提供に係る対価です。</p> <p>当社は、この商品の組成会社等と資本関係等の特別の関係はありません。</p> <p>当社の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。</p> <p>※利益相反の内容とその対処方針については、「利益相反管理方針」をご参照ください。</p> <p>http://www.banyo-sec.co.jp/pdf/riekisouhan.pdf</p>	
次のようなご質問があればお問い合わせください	・あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

6.租税の概要（NISA、つみたてNISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

<p>個人投資家の場合、分配時および換金時・償還時に、所得税および地方税がかかる場合があります。</p> <p>詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「税金」に記載しています。</p> <p>この商品はNISAの対象商品ではありません。iDeCoでのお取り扱いはありません。</p>	
---	--

7.その他参考情報（契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください）

<p>当社の「目論見書補完書面」</p> 	<p>組成会社が作成した「目論見書」</p> 
--	---

上記「目論見書補完書面」及び「目論見書」につきましては、ご希望があれば、書面でお渡します。